

カリキュラム

A. 生産管理	生産性分析と向上
---------	-----------------

コースのねらい	生産方式を理解し、生産性向上のために現状分析と改善活動ができる知識、技能を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	
	1	生産方式と生産性	(1) イントロダクション ・我々を取り巻く環境とその変化 ・ものづくりを生業とするとは (2) 生産方式の種類と特徴 ・生産計画と生産統制 ・様々な生産方式 ・受注と生産方式の関係 ・一般的な生産の問題点 (3) 生産性を考える ・生産性とは ・生産性向上の着眼点 ・演習「設備生産性の向上」	2.0
	2	現状分析と効率化	(1) 現状分析 ・現状分析の重要性 ・問題点の顕在化 ・ムダの考え方 (2) 現状分析の基本となる「時間値」の考え方 ・ものづくりで覚えておくべき4つの「タイム」 ・現状把握の留意点	1.5
	3	改善活動	(1) 改善活動の基本 ・改善目標設定の考え方 ・真の能率と見かけの能率 ・原価低減に寄与する改善活動 (2) 演習(グループワーク) 「生産方式の違いによるアウトプットの差を体感する！」 専用のキットを使い、まとめてものを造る場合と 平準化(1個ずつ)でものを造る場合の違いを「納入個数」「収益」「原価」「顧客満足度」の4つの観点で検証、体感	2.5
合計時間			6.0	

カリキュラム作成のポイント	ものづくり企業の生産性とはどのような事を意味するのか、生産性向上とは具体的に何をどうすることなのかを改めて腹に落して頂きます。また、講義だけでなく専用のキットや動画を使用した演習(グループワーク)を通して生産性向上の着眼点、生産方式の違いが収益やお客様に及ぼす影響を体感して頂き、現場を担う方々に改善意欲を喚起して頂く事を狙っています。
---------------	--

講師から一言	本講座では座学一辺倒ではなく、専用のキットや映像を活用して、講義の内容をより皆様の実務に近い形で理解して頂けるように構成をさせて頂いています。また座学につきましても一方通行ではなくグループワークなども含めて相互通行、異業種交流も念頭に進めたいと思います。
--------	---